

EPSON
EXCEED YOUR VISION

Offirio
オフィリオ プロジェクター

PC Free操作ガイド

PC Freeの概要

PC Freeでできること	4
PC Freeの利用例	4
PC Freeで投写できるファイルの仕様	4
再生できる動画ファイル	5

PC Freeの使い方

PC Freeの操作方法	7
PC Freeの起動と終了	7
PC Freeの起動方法	7
PC Freeの終了方法	9
PC Freeの基本操作	9
画像を回転する	9
PowerPointで作成したファイルの投写	11
シナリオの再生	11
シナリオ再生中の操作	11
画像・動画ファイルの投写	12
動画・画像を投写する	12
フォルダー内のファイルを順番に投写する(スライドショー)	13
スライドショーの動作設定	14

付 録

困ったときに	16
その他の機能	17
シナリオ(SITファイル)を簡易編集する	17
電子証明書をプロジェクターに登録する	18
登録できる電子証明書の種類	18
クライアント証明書を登録する	18
CA証明書を登録する	19

一般のご注意	20
本製品について	20
商標について	20
索引	21

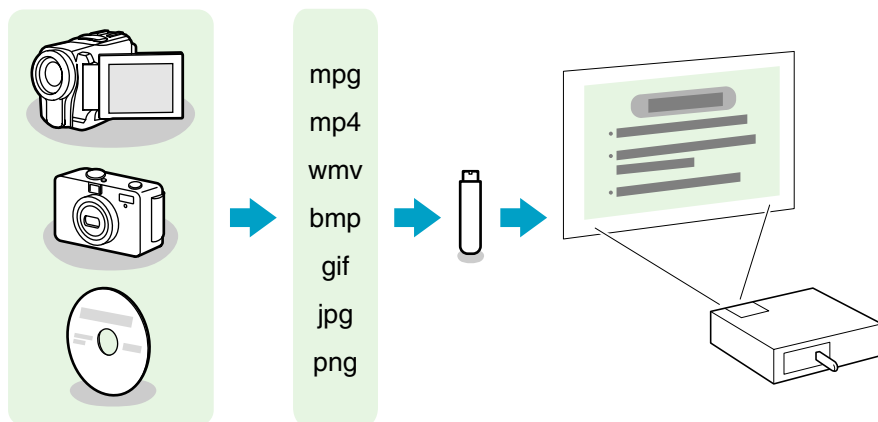


PC Freeの概要

PC Freeでは、USBストレージやデジタルカメラをプロジェクターに接続して、保存されているファイルを直接投写することができます。

PC Freeの利用例

USBストレージなどに保存した画像・動画ファイルを投写

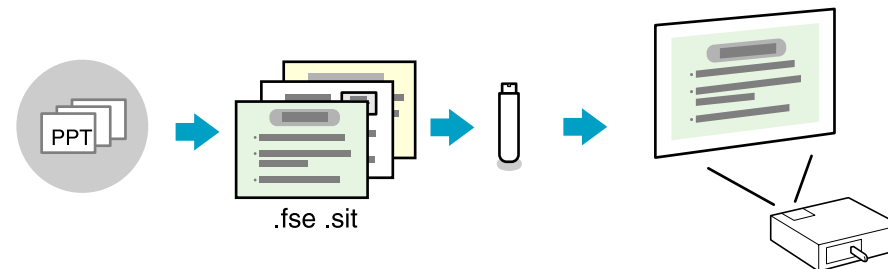


動画ファイルや画像ファイルを単体で投写したり、複数のファイルをスライドショーで連続再生できます。

☛ 「画像・動画ファイルの投写」 p.12

☛ 「フォルダー内のファイルを順番に投写する(スライドショー)」 p.13

コンピューターを持ち込まずにPowerPointファイルのスライドショーを投写



PowerPointファイルをPC Freeで投写できるファイル形式に変換してUSBストレージに保存しておけば、コンピューターを持ち込まずにPowerPointのスライドショーを投写できます。

☛ 「PowerPointで作成したファイルの投写」 p.11

PowerPointファイルの変換は、添付のアプリケーションソフトEasyMP Slide Converterで簡単に行えます。

☛ 『EasyMP Slide Converter操作ガイド』

PC Freeで投写できるファイルの仕様

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
シナリオ	.fse .sit※	EasyMP Slide Converter を使ってPowerPoint ファイルをPC Freeで再生できるように変換したファイルです。本書ではシナリオと呼びます。 ☛ p.11

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
画像	.jpg	以下の場合には投写できません。 ● 解像度が8192×8192を超えるもの ● ファイルサイズが12MBを超えるもの ● 拡張子が .jpeg のファイル ● CMYKカラーモード形式 ● プログレッシブ形式 JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写されないことがあります。
	.bmp	解像度が1280×800を超えるものは投写できません。
	.gif	● 解像度が1280×800を超えるものは投写できません。 ● アニメーションGIFは投写できません。
	.png	解像度が1280×800を超えるものは投写できません。


※ 別のエプソンプロジェクターに添付のEMP SlideMaker / EMP SlideMaker2で作成したシナリオ(SITファイル)も投写できます。

再生できる動画ファイル

ファイルタイプ (拡張子)	動画 コーデック	音声コーデック	記録品質
.mpg※	MPEG-2	MPEG-1 Layer1/2 無音のMPEGコンテンツも再生できます。 リニアPCMとAC-3は再生できません。	最高フレームレート：30fps 最大解像度： 720×480 (NTSC) 720×576 (PAL)
.mp4※	MPEG-4 ASP MPEG-4 AVC	MPEG-4 AAC-LC	

ファイルタイプ (拡張子)	動画 コーデック	音声コーデック	記録品質
.wmv	WMV8	WMA	
.asf	WMV9		

※ 拡張子が.mpegのファイルは投写できません。



- セキュリティ機能が付いているUSB ストレージは、使用できないことがあります。
- デジタル著作権管理(DRM)がかかっているファイルは投写できません。
- 動画を再生する場合、アクセス速度が遅いUSBストレージ(高ビットレート再生のとき)を使用すると、正しく再生されなかったり、音飛びしたり音が出なくなったりすることがあります。
- 一部のファイルシステムに対応できないことがありますので、Windows上でフォーマットしたメディアをお使いください。
- メディアはFAT16/32でフォーマットしてください。



PC Freeの使い方

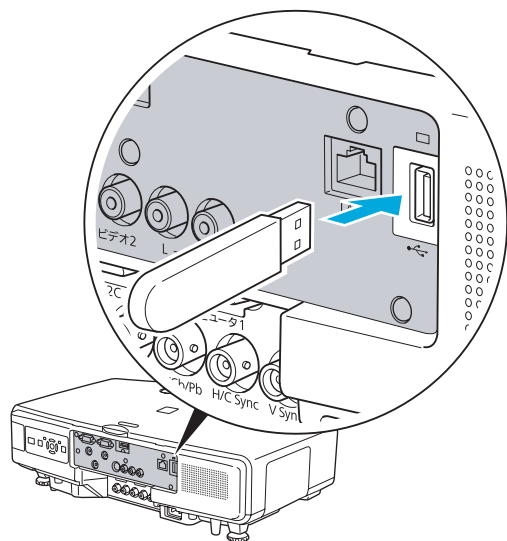
PC Freeの起動と終了

PC Freeの起動方法

操作

- 1 投写映像をUSBに切り替えます。
 ● 『取扱説明書』「リモコンで目的の映像に切り替える」

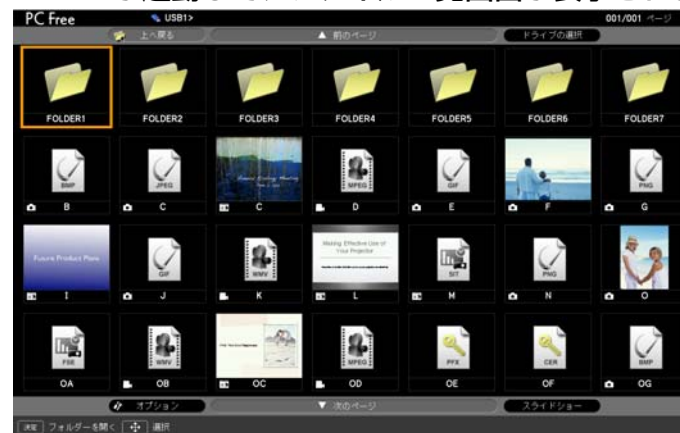
- 2 プロジェクターのUSB(TypeA)端子に、USB ストレージまたはデジタルカメラを接続します。
 デジタルカメラを接続するときは、デジタルカメラに同梱、あるいは指定のUSBケーブルをお使いください。



注意

- USBハブを使用すると、正しく動作しません。デジタルカメラやUSBストレージを直接本機に接続してください。
- USB対応のハードディスクを接続して使用する際は、必ずハードディスクに付属のACアダプターを接続してください。
- デジタルカメラやハードディスクの接続には、各機器に同梱、あるいは指定のUSBケーブルをお使いください。
- USBケーブルの長さは、3m以下のものをお使いください。ケーブル長が3mを超えると、PC Freeが正しく動作しないことがあります。

- 3 PC Freeが起動して、ファイル一覧画面が表示されます。



JPEGファイルやMPEGファイルはサムネイル表示(ファイルの内容が小さい画像で表示)されます。シナリオ(FSEファイル、SITファイル)は、スライドの1枚目の画像がサムネイル表示されます。それ以外のファイルとフォルダーは次表のようにアイコンで表示されます。

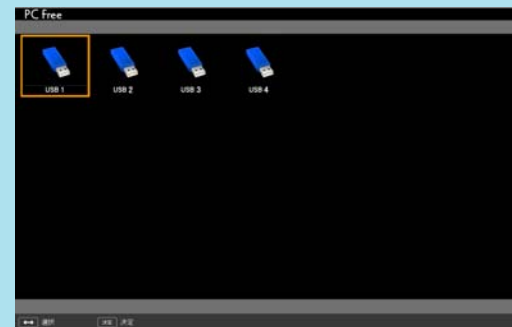
アイコン	ファイル	アイコン	ファイル
	FSEファイル※		SITファイル※

アイコン	ファイル	アイコン	ファイル
	JPEGファイル※		MPEGファイル
	BMPファイル		WMVファイル
	GIFファイル		PFXファイル (クライアント証明書)
	PNGファイル		CERファイル (CA証明書)

※ サムネイル表示できない場合は、アイコンで表示されます。



- シナリオにオートランの設定がされているときは、他の入力ソースに対して最優先で自動再生されます。再生を中止したい場合は、[戻る]ボタンを押します。☞ p.11
- USBカードリーダーにメモリーカードをセットして本機に接続することができます。ただし、市販のUSBカードリーダーには本機で使用できないものもあります。
- 以下の画面(ドライブの選択画面)が表示されたときは、リモコンの[⊙]ボタンまたは操作パネルの[▽/▲][□/▼][⏪/◀][⏩/▶]ボタンを押して使用するドライブを選択し、[決定]ボタンを押します。





- ドライブの選択画面を表示するには、ファイル一覧画面上部の**ドライブの選択**にカーソルを合わせて[決定]ボタンを押します。
- 本機が一度に認識できるメディアは8つまでです。


PC Freeの終了方法

操作

- 1 ファイルを再生しているときは、再生を終了します。

動画・画像の再生を終了する  p.12

シナリオの再生を終了する  p.11

スライドショーを終了する  p.13

- 2 接続しているUSB 機器を本機から取り外します。

デジタルカメラやハードディスクなどは、各機器の電源をオフにしてから取り外してください。








注意

USB機器にアクセス中は、プロジェクターからUSB機器を取り外さないでください。

PC Freeの基本操作

以下ではPC Freeで画像や動画、シナリオを再生、投写する操作を説明します。

操作

- 1 リモコンの[]ボタンまたは操作パネルの[/ ] [/ ] [/ ] [/] ボタンで、操作の対象となるファイルまたはフォルダーにカーソルを合わせます。



現在表示中の画面にすべてのファイルやフォルダーが表示しきれていない場合は、[ページ]ボタン(⏪)を押すか、画面下部の**次のページ**にカーソルを合わせて[決定]ボタンを押します。
前の画面に戻る場合は、[ページ]ボタン(⏩)を押すか、画面上部の**前のページ**にカーソルを合わせて[決定]ボタンを押します。

- 2 [決定]ボタンを押します。

選択した映像が表示されます。

フォルダーを選択したときは、フォルダー内のファイルが表示されます。フォルダーを開いた画面で、**上へ戻る**を選択して[決定]ボタンを押すとフォルダーを開く前の画面に戻ります。

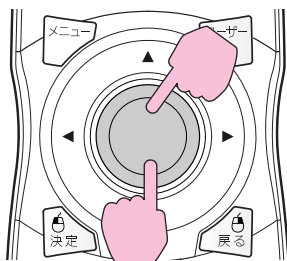
画像を回転する

PC Freeで画像ファイルを投写しているときは、画像を90° 単位で回転できます。

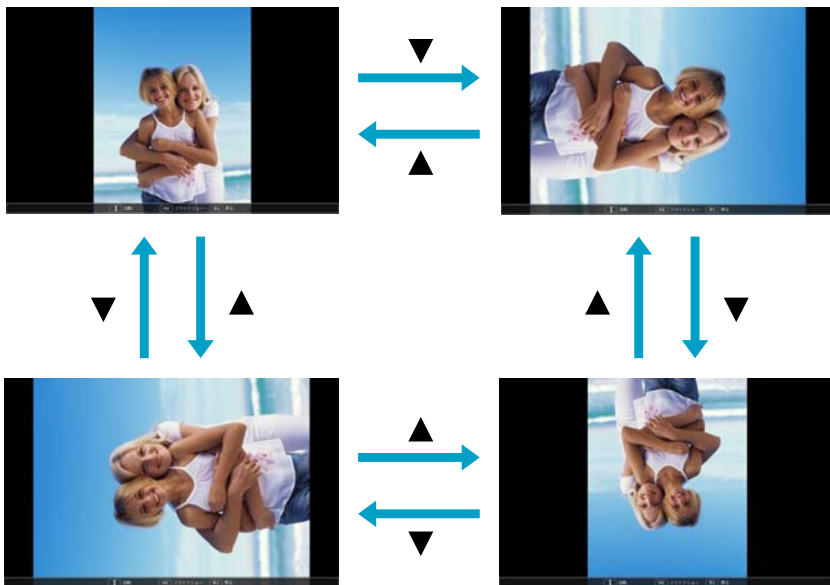
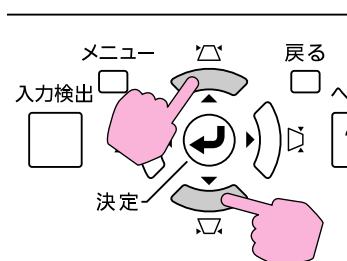
操作

リモコンの[⊙]ボタンまたは操作パネルの[△/▲][□/▼]ボタンで、画像を回転させます。

リモコンの場合



操作パネルの場合



PowerPointファイルをPC Freeで投写するには、添付のアプリケーションソフトEasyMP Slide ConverterでFSEファイルまたはSITファイルに変換してください。☞『EasyMP Slide Converter操作ガイド』

変換したファイルを本書ではシナリオと呼びます。

ここでは、USB ストレージに保存したシナリオの再生方法とシナリオ再生中の操作方法について説明します。

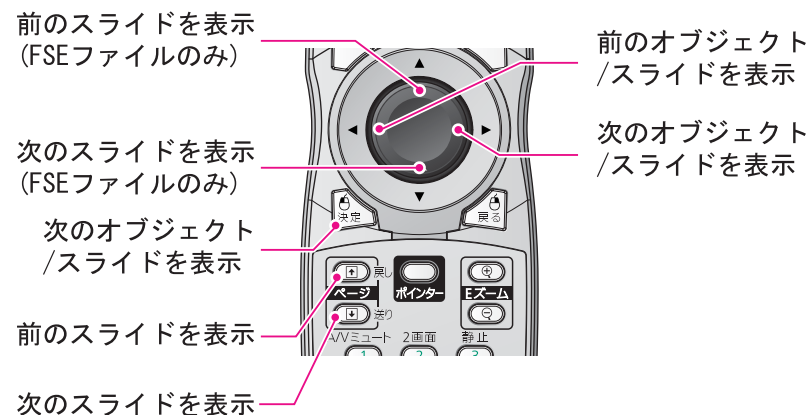
シナリオの再生

操作

- 1 **PC Freeを起動します。** ☞ p.7
ファイル一覧画面が表示されます。
- 2 リモコンの[◉]ボタンまたは操作パネルの[△/▲] [▽/▼] [◀/▶] [◁/▷] [⏪/⏩] ボタンで、再生するシナリオにカーソルを合わせます。
- 3 [決定]ボタンを押します。
再生を開始します。

シナリオ再生中の操作

シナリオ再生中は、リモコンで次の操作ができます。



シナリオの再生を終了するときは、[戻る]ボタンを押して、メッセージ画面で終了を選択してから、[決定]ボタンを押します。



シナリオや画像ファイルを投写中に以下の操作ができます。

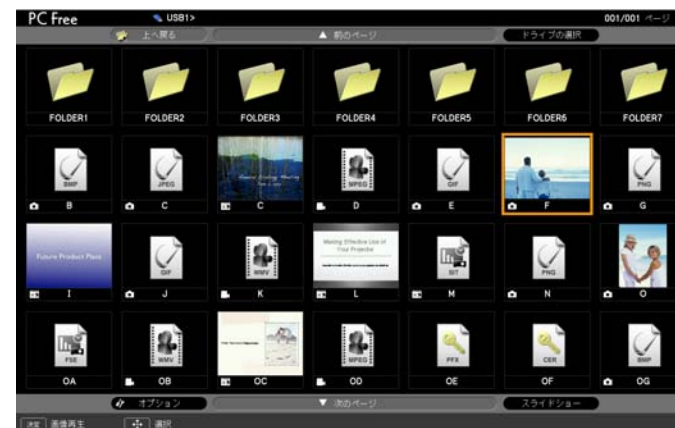
- 静止 ☞ 『取扱説明書』「映像を停止させる(静止)」
- A/Vミュート ☞ 『取扱説明書』「映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)」
- Eズーム ☞ 『取扱説明書』「映像を部分的に拡大する (Eズーム)」

USBストレージ内の画像・動画ファイルやデジタルカメラの画像ファイルをPC Freeで投写するには、次の2通りの方法があります。

- 選択した画像・動画ファイルの投写
1つのファイルの内容を再生して投写する機能です。
- フォルダー内の画像・動画ファイルの順次投写(スライドショー)
フォルダー内のファイルの内容を、順番に1つずつ再生して投写する機能です。

注意

動画投写時は頻繁にUSBストレージにアクセスします。そのときにUSBストレージの接続を外さないでください。PC Freeに異常が発生する場合があります。



3

[決定]ボタンを押します。

画像または動画の再生が始まります。



4


再生を終了するときには、次の操作を行います。

再生を終了すると、ファイル一覧画面に戻ります。


- 静止画を投写中：[戻る]ボタンを押す。
- 動画を投写中：[戻る]ボタンを押して表示されるメッセージ画面で、**終了**を選択して[決定]ボタンを押す。

動画・画像を投写する

操作

- 1 PC Freeを起動します。  p.7
ファイル一覧画面が表示されます。
- 2 リモコンの[⊙]ボタンまたは操作パネルの[△/▲] [◁/▼] [⏪/◀] [⏩/▶] [▶]ボタンで、投写する画像ファイルまたは動画ファイルにカーソルを合わせます。




- 画像ファイルを投写しているときは、画像を回転できます。
 p.9
- 動画再生中は、リモコンで次の操作が行えます。
 早送り：[◀]ボタンを[▶]方向に押す
 早戻し：[▶]ボタンを[▶]方向に押す
 静止(一時停止)：[▶]ボタンを[▼]方向に押す
 早戻し/早送りスピードは3段階あり、ボタンを押すたびに変わります。
 通常の再生に戻るには[決定]ボタンを押します。
 早送り・早戻し・静止中は音声は出ません。


フォルダー内のファイルを順番に投写する(スライドショー)

フォルダー内の画像・動画ファイルを順番に1つずつ投写できます。この機能をスライドショーと呼びます。以下の手順でスライドショーを実行します。





繰り返して投写したり画面切替時の表示に効果をつけるなどの表示条件を設定できます。スライドショーで動画・画像ファイルを自動的に切り替えて表示するには、PC Freeのオプション画面で**表示時間設定をなし**以外に設定してください。初期設定は**なし**に設定されています。
 「スライドショーの動作設定」 p.14

操作

- ① **PC Free**を起動します。
 p.7
 ファイル一覧画面が表示されます。
- ② リモコンの[▶]ボタンまたは操作パネルの[△/▲][□/▼][▶/▶][◀/▶]ボタンで、スライドショーを実行するフォルダーにカーソルを合わせて、[決定]ボタンを押します。
- ③ ファイル一覧画面の下部で「スライドショー」を選択して、[決定]ボタンを押します。

スライドショーが実行され、自動的にフォルダー内の画像・動画ファイルが順次1つずつ投写されます。

最後まで投写すると、自動的にファイル一覧画面に戻ります。オプション画面で**繰り返し再生をオン**に設定しているときは、最後まで投写すると最初から投写を繰り返します。
 「スライドショーの動作設定」 p.14

シナリオと同様、スライドショー投写中は次画面に送る、前画面に戻す、再生を中止することができます。
 「シナリオ再生中の操作」 p.11



- オプション画面で**表示時間設定をなし**に設定している場合、スライドショー再生を実行しても自動的にファイルが切り替わりません。リモコンの[決定]ボタンまたは[ページ]ボタン(⊞)を押して、次のファイルを投写します。
- スライドショーの途中で再生を終了するときは、[戻る]ボタンを押して、メッセージ画面で**終了**を選択してから、[決定]ボタンを押します。

スライドショーの動作設定

ファイルの表示順序やスライドショーの動作をオプション画面で設定できます。

操作

- ① ファイル一覧画面下部の「オプション」にカーソルを合わせて、[決定]ボタンを押します。
- ② オプション画面が表示されるので、各項目を設定します。
変更したい項目の設定にカーソルを合わせて[決定]ボタンを押すと、設定が有効になります。
各項目の詳細は次の表のとおりです。



表示順序設定	表示するファイルの順番を設定します。ファイル名順、更新日付順を昇降順で選択できます。
繰り返し再生	繰り返しスライドショーを実行するかを設定します。

表示時間設定	スライドショー再生で、1つのファイルを表示する時間を設定します。なし(0)~60秒までの設定ができます。なしに設定したときは、自動送りは無効となります。
画面切替効果	スライドを切り替えるときの画面効果を設定します。

- ③ リモコンの[⊙]ボタンまたは操作パネルの[△/▲][□/▼][◀/▶][⏪/⏩]ボタンで「OK」にカーソルを合わせて、[決定]ボタンを押します。
設定が適用されます。
設定を適用したくない場合は、キャンセルにカーソルを合わせて、[決定]ボタンを押します。



付 録

シナリオの再生に関するトラブルは、次も参照してください。☛『[EasyMP Slide Converter操作ガイド](#)』

PC Freeでファイルを再生・表示できない

確認	対処法
PC Freeで再生できないファイル形式のファイルを再生しようとしていませんか？	PC Freeで再生できるファイルの仕様は次でご確認ください。☛『 PC Freeで投写できるファイルの仕様 』 p.4
セキュリティー機能が付いたUSBストレージをお使いですか？	セキュリティー機能が付いたUSBストレージや一部のUSBストレージは、本機では使用できないことがあります。別のUSBストレージにファイルを保存しなおしてお試しください。
USBハードディスクやUSBカードリーダーをお使いですか？	市販のUSBハードディスクやUSBカードリーダーには、本機で使用できないものがあります。

画面が切り替わらない

確認	対処法
スライドショーの動作設定は正しいですか？ スライドショー実行時のみ	オプション画面の 表示時間設定をなし に設定しているときは、手動で1枚ずつスライドを切り替えます。スライドの切り替えを自動で行うときは、 なし 以外に設定してください。☛ p.14
PowerPointで画面の切り替えを自動で行うように設定しましたか？ シナリオ投写時のみ	画面の切り替えを自動で行うには、シナリオに変換する前に、PowerPointで画面の切り替えを自動で行うように設定しておく必要があります。☛『 EasyMP Slide Converter操作ガイド 』

画面上下のメニュー表示を消したい

確認	対処法
画像ファイルまたは動画ファイルを単体で投写していますか？	スライドショーを実行するとメニュー表示が消えます。☛ p.13 自動で画面を切り替えたくないときは、オプション画面の 表示時間設定をなし に設定してください。 ☛ p.14

シナリオ(SITファイル)を簡易編集する

EasyMP Slide Converterの簡易変換を行うで変換したSITファイルに対して、スライドの投写する順番を変更したり、各スライドの表示・非表示を編集したりできます。



FSEファイルを簡易編集することはできません。

操作

① リモコンの[◀]ボタンまたは操作パネルの[◀]ボタンで編集するSITファイルにカーソルを合わせて、[戻る]ボタンを押します。

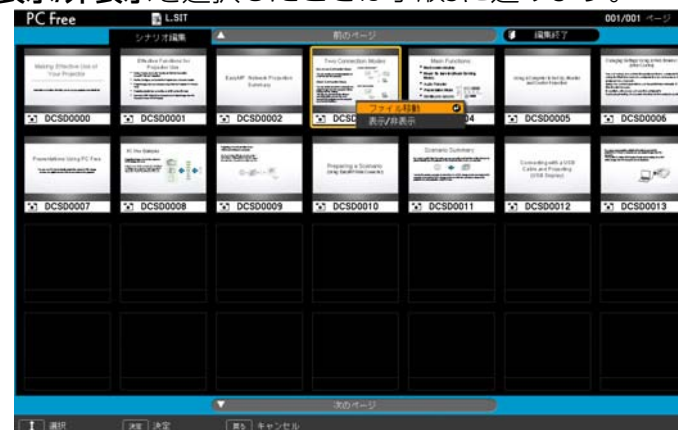
② 表示されたサブメニューで「シナリオ編集」を選択して、[決定]ボタンを押します。



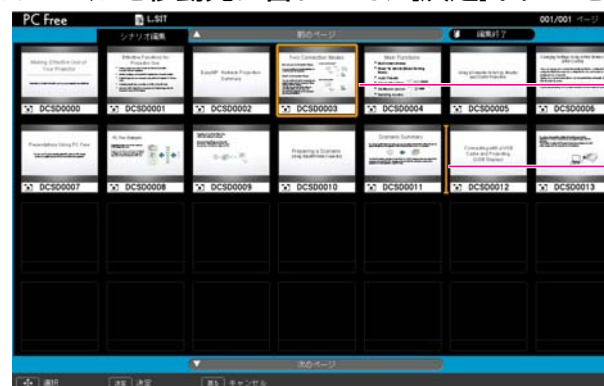
③ 目的のスライドにカーソルを合わせて、[戻る]ボタンを押します。サブメニューが表示されます。

スライドの順番を入れ替えるときは**ファイル移動**を、表示/非表示を切り替えるときは**表示/非表示**を選択して[決定]ボタンを押します。

ファイル移動を選択したときは手順4に進みます。
表示/非表示を選択したときは手順5に進みます。



④ カーソルを移動先に合わせて、[決定]ボタンを押します。



移動するスライド

移動先を選択するカーソル

⑤ 編集が終了したら、画面上部の「編集終了」にカーソルを合わせて、[決定]ボタンを押します。

編集した内容はUSBストレージがプロジェクターにセットされている間だけ有効です。

電子証明書をプロジェクターに登録する

プロジェクターのネットワークメニューでセキュリティーをEAP-TLSに設定したときは、認証用のクライアント証明書とCA証明書をプロジェクターに登録します。

ここでは、USBストレージに保存した電子証明書を、PC Freeでプロジェクターに登録する方法について説明します。

登録できる電子証明書の種類

プロジェクターに登録できるクライアント証明書、CA証明書は1対のみです。新たに別の電子証明書を登録したときは、上書きされます。

種類	拡張子	備考
クライアント証明書	.pfx	パスワードなし(NULL)の証明書は使用できません。
CA証明書	.cer	バイナリー形式(DER)でエンコードされたもの。BASE64でエンコードされたものは使用できません。

クライアント証明書を登録する

操作

- ① 電子証明書を保存したUSBストレージをプロジェクターに接続して、PC Freeを起動します。☞ [p.7](#)
ファイル一覧画面が表示されます。
- ② リモコンの[⊙]ボタンまたは操作パネルの[△/▲][▽/▼][◀/▶][D]/▶ボタンでクライアント証明書(PFXファイル)のアイコンにカーソルを合わせて、[戻る]ボタンを押します。



- ③ 「電子証明書」を選択して、[決定]ボタンを押します。次の画面が表示されます。



- ④ パスワードをソフトキーボードで入力します。(半角英数32文字以内) ☞ 『取扱説明書』『ソフトキーボードの操作』
- ⑤ 証明書の情報が表示されるので、内容が正しければ「OK」にカーソルを合わせて、[決定]ボタンを押します。
「電子証明書の取得に成功しました。」とメッセージが表示されたら、登録の完了です。

CA証明書を登録する

操作

- 1 電子証明書を保存したUSBストレージをプロジェクターに接続して、PC Freeを起動します。☞ p.7
ファイル一覧画面が表示されます。
- 2 リモコンの[◉]ボタンまたは操作パネルの[△/▲][□/▼][◀/◂][▶/▸]ボタンでCA証明書(CERファイル)のアイコンにカーソルを合わせて、[戻る]ボタンを押します。



- 3 「CA証明書」を選択して、[決定]ボタンを押します。
- 4 証明書の情報が表示されるので、内容が正しければ「OK」にカーソルを合わせて、[決定]ボタンを押します。
「CA証明書の取得に成功しました。再起動を行います。」とメッセージが表示されたら、登録の完了です。[決定]ボタンを押してプロジェクターを再起動すると、証明書の認証が行われます。認証に成功したときは、入力ソースをLANに切り替えると、LAN待機画面にIPアドレスが表示されます。

本製品について

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不相当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

商標について

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Vista、Windows 7、PowerPoint、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について

本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2010. All rights reserved.

数字・アルファベット

asf	5
bmp	5
CA証明書	19
fse	4
gif	5
jpg	5
mp4	5
mpg	5
png	5
sit	4
wmv	5

ア

上へ戻る	9
オプション(PC Free)	14

カ

画面切替効果	14
クライアント証明書	18
繰り返し再生(PC Free)	14

サ

シナリオ編集	17
スライドショー	13

タ

電子証明書	18
ドライブの選択	8

ハ

表示時間設定	14
表示順序設定	14
表示/非表示	17
ファイル一覧画面	7
ファイル移動	17
編集終了	17